先端計測分析技術・機器開発プログラム　現在の推進体制

資料2－2
科学技術・学術審議会 先端研究基盤部会
研究開発プラットフォーム委員会
先端計測分析技術・システム開発小委員会（第2回）
平成25年6月13日

文部科学省（先端計測分析技術・システム開発小委員会）

基本方針を通知 ↓　　↑ 自己検証結果を報告

【推進委員会】

・プログラムの実行方策の検討、プログラムの推進（公募、採択、評価）を一体的に担う。
・JST開発主監を長とし、各分科会の分科会長・領域総括や総合評価分科会委員等により構成。

【総合評価分科会】

・重点開発領域を除いて（領域非特定型）、課題選定・中間評価を担う。
・全ての開発課題の事後評価を担う。
・分科会長・副分科会長のほか、有識者で構成。
（領域総括、開発総括はオブザーバーとして出席）

領域非特定型の採択課題は、「開発総括」が役割分担の下で進捗管理

【開発成果の活用・普及促進ワーキンググループ】

・総合評価分科会の役割のうち、開発成果の活用・普及促進の課題選定、事後評価を担う。
・総合評価分科会委員のほか有識者で構成。

推進委員会のマネジメントの下
全ての分科会は密に連携

【放射線計測領域分科会】

・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。　※中間評価には総合評価分科会委員が参加
・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者で構成。

【グリーンイノベーション領域分科会】

・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。　※中間評価には総合評価分科会委員が参加
・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者で構成。

重点開発領域の採択課題は、「領域総括」を中心とする分科会が当該領域全体を俯瞰して進捗管理。

【ライフイノベーション領域分科会】

・当該領域における課題選定・中間評価※を担う。　※中間評価には総合評価分科会委員が参加
・領域総括のほか開発総括、総合評価分科会委員、有識者（医師等の医療関係者や医療機器メーカー関係者など）で構成。

いずれの委員会・分科会・ワーキンググループにおいても文部科学省のほか、**関係行政機関等がオブザーバーとして出席**